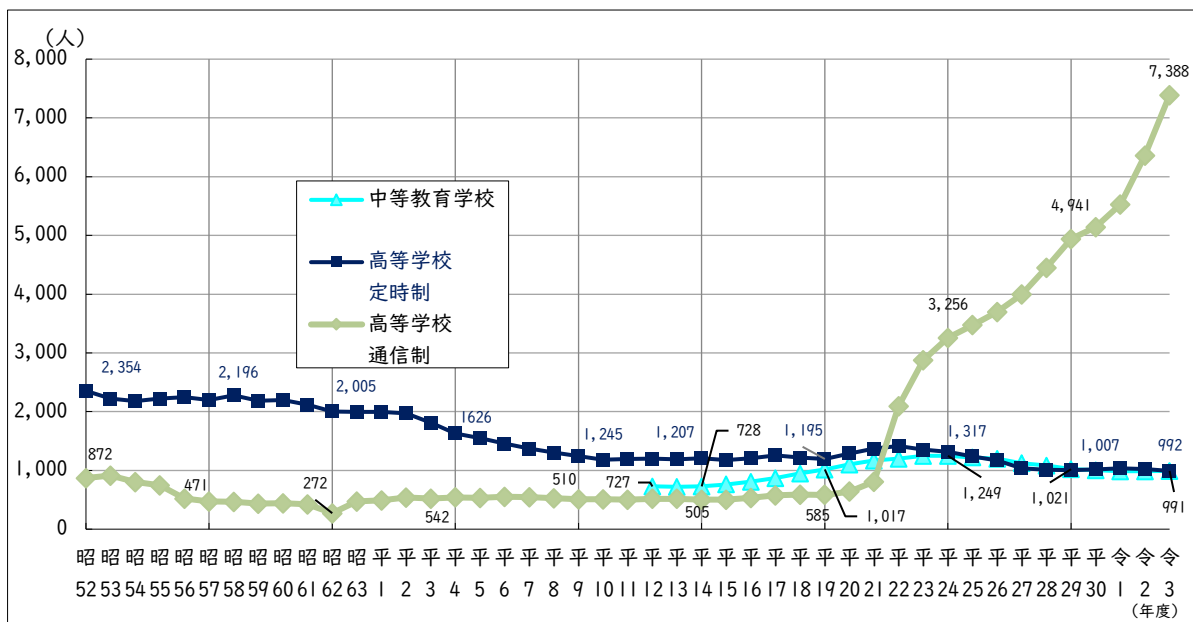
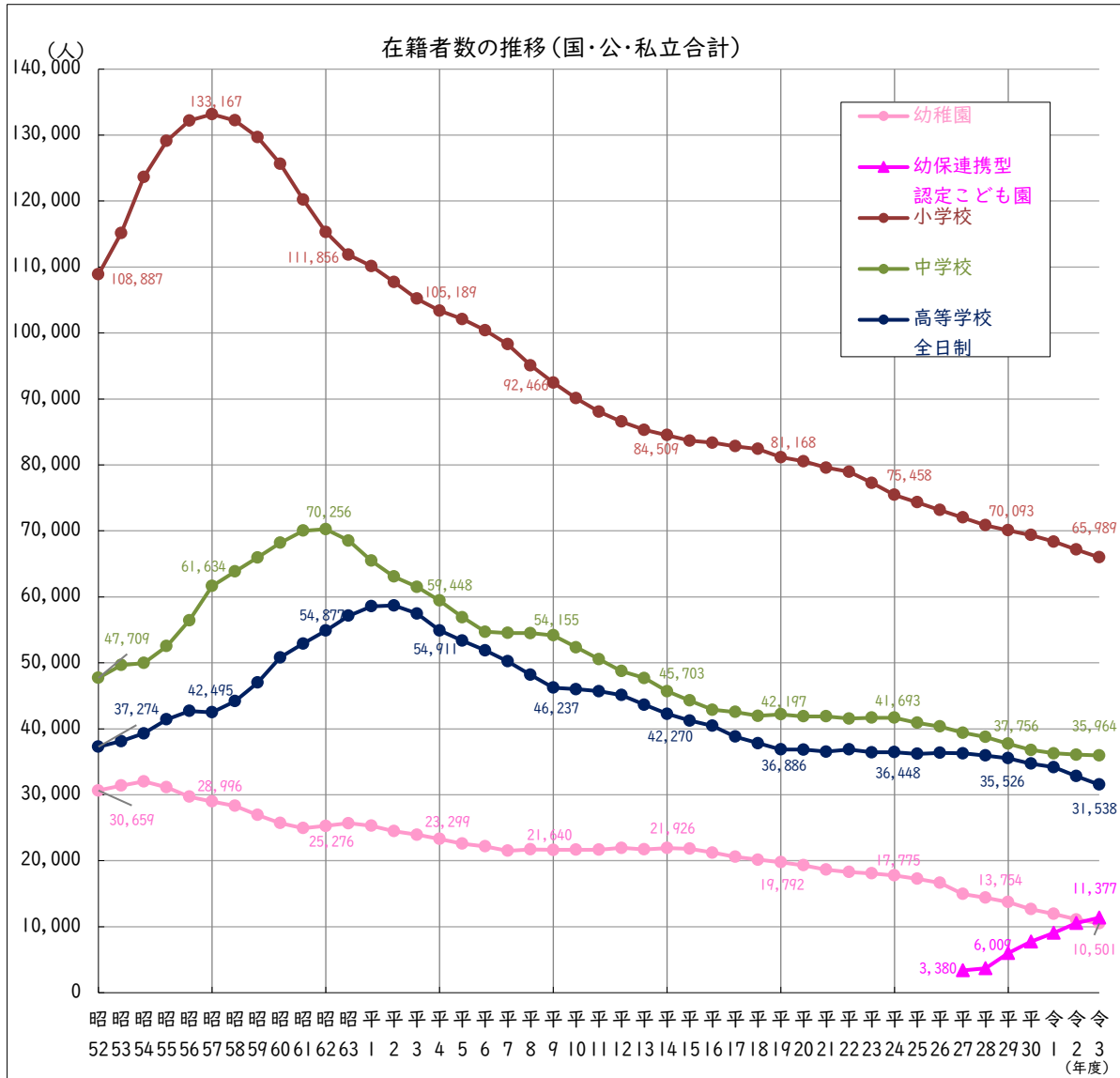


2 在籍者数

2-1 在籍者数の推移

過去30年間の在籍者数は、幼稚園・小学校・中学校・高等学校(全日制)ともに減少傾向にある。幼保連携型認定こども園・高等学校(通信制)は、近年増加している。

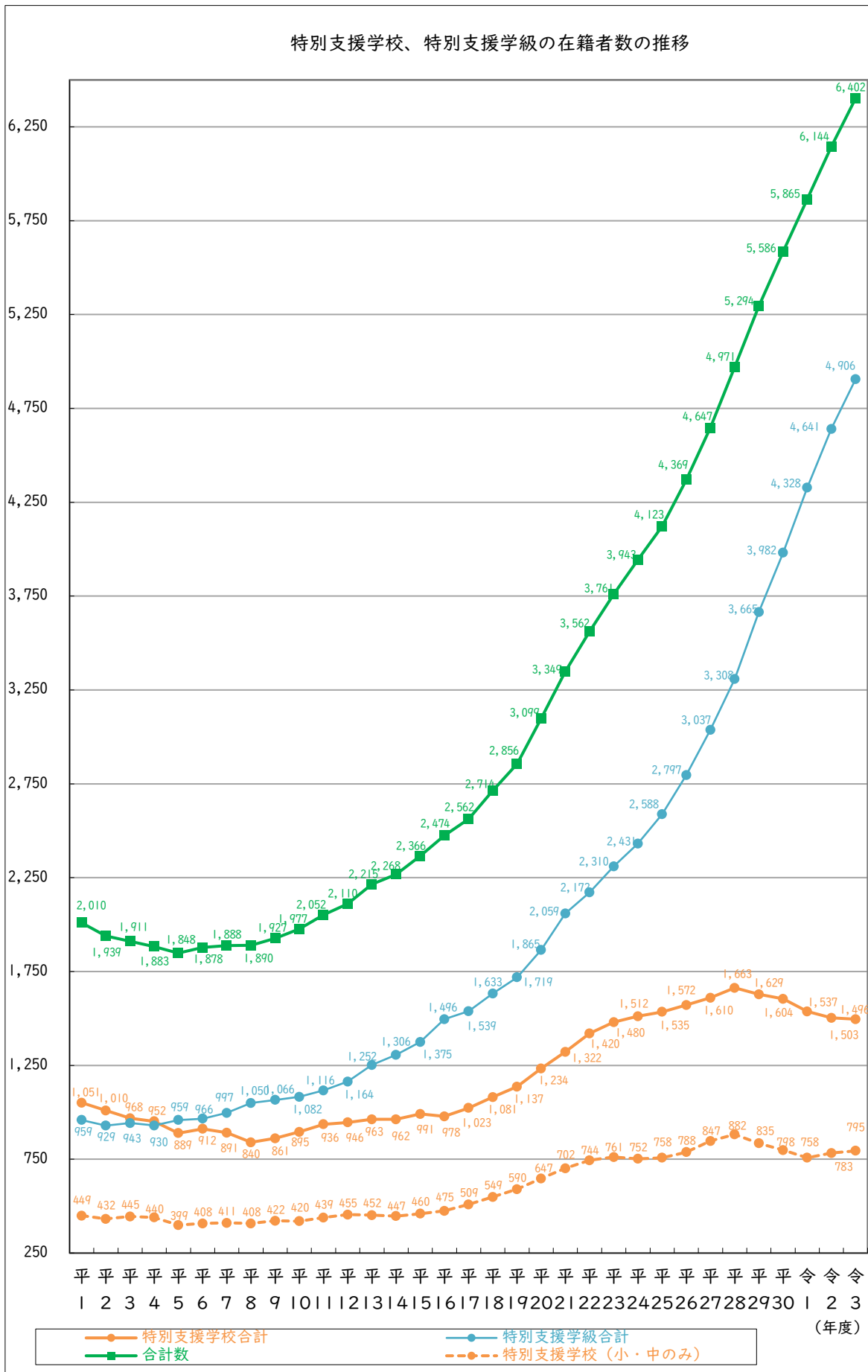


更新:R4.2

(資料) 文部科学省「学校基本調査」

2-2 特別支援学校・学級の在籍者数の推移

特別支援学級の在籍者数は増加傾向にあり、10年前と比較すると在籍者数は約2倍になっている。特別支援学校の在籍者数は最近5年間はやや減少している。特別支援学校・特別支援学級の在籍者数の合計は増加傾向にある。

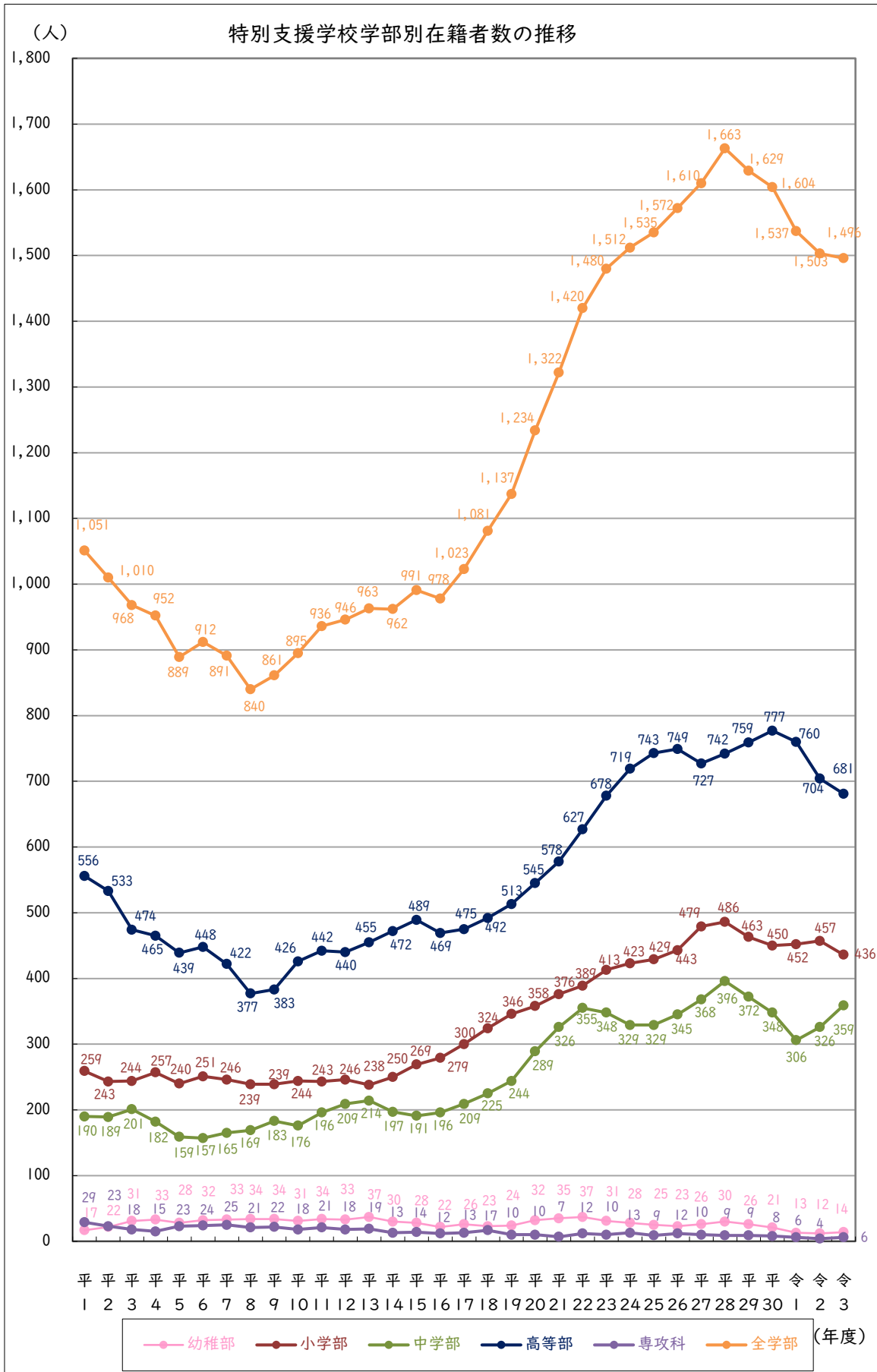


更新:R4.2

(資料)文部科学省「学校基本調査」

2-3 特別支援学校の在籍者数の推移

平成8年度から20年間の特別支援学校の在籍者数は増加傾向にあったが、最近は減少傾向にある。

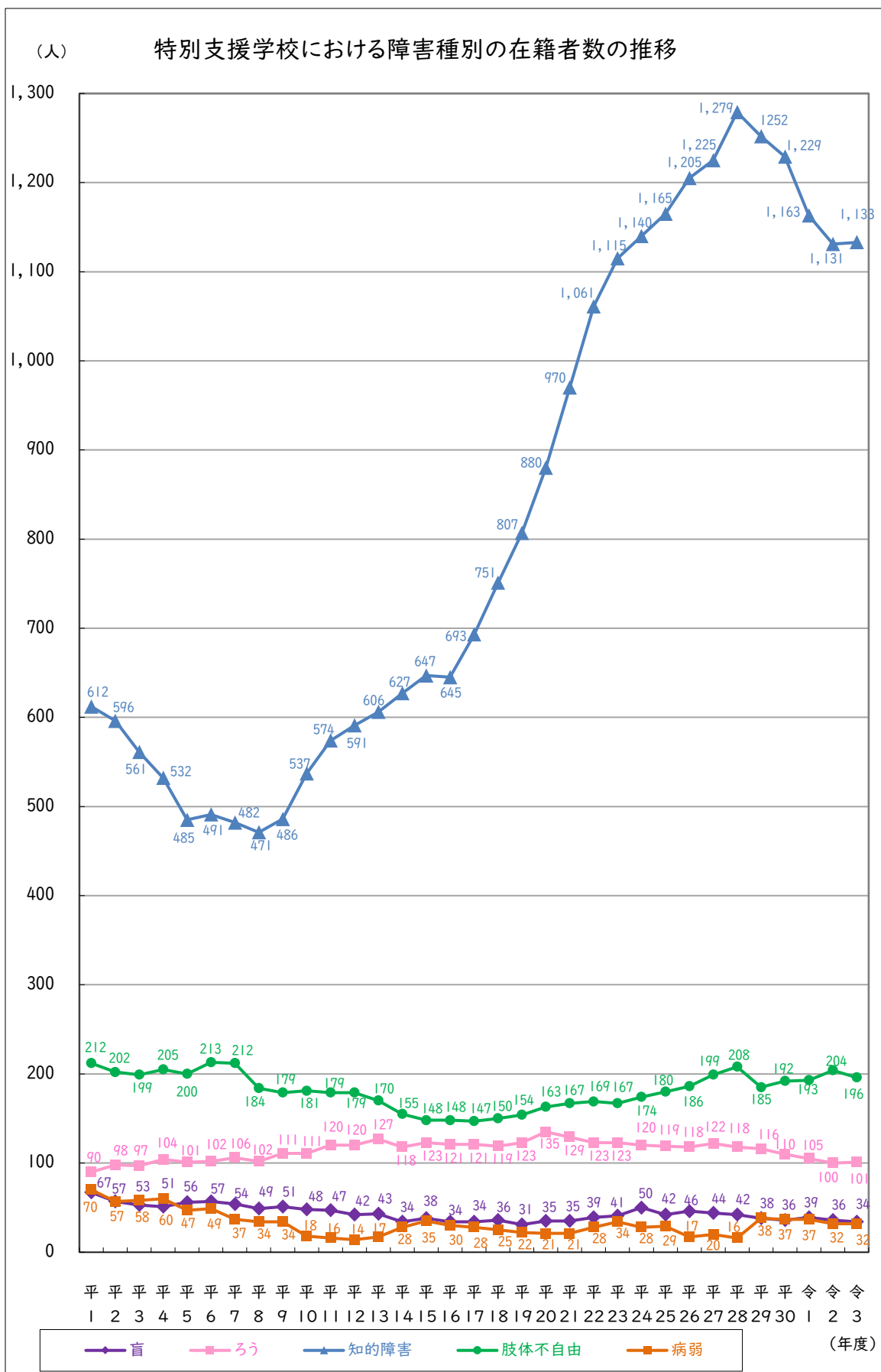


更新:R4.2

(資料) 文部科学省「学校基本調査」

2-4 特別支援学校の障害種別在籍者数の推移

特別支援学校における障害種別在籍者数の推移は、平成16年から約10年間は主として知的障害のある児童生徒数の増加が著しかったが、近年は減少傾向である。

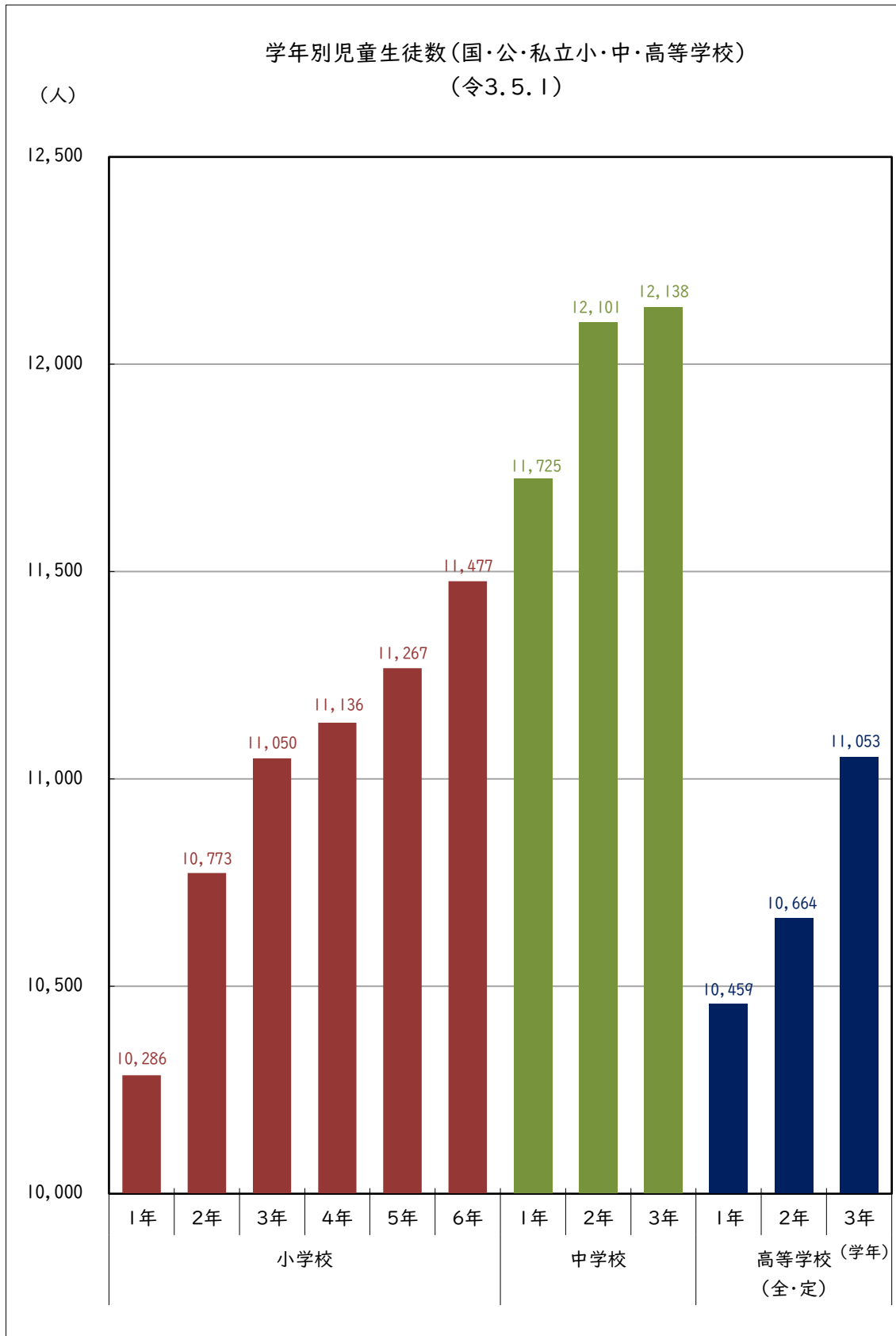


更新:R4.2

(資料)奈良県教育委員会調べ

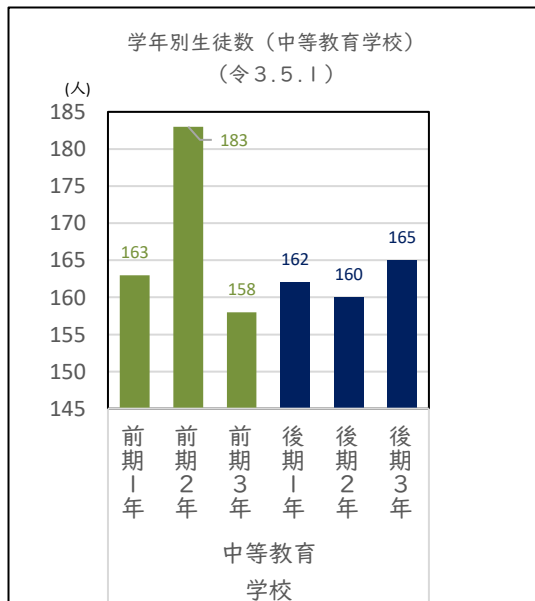
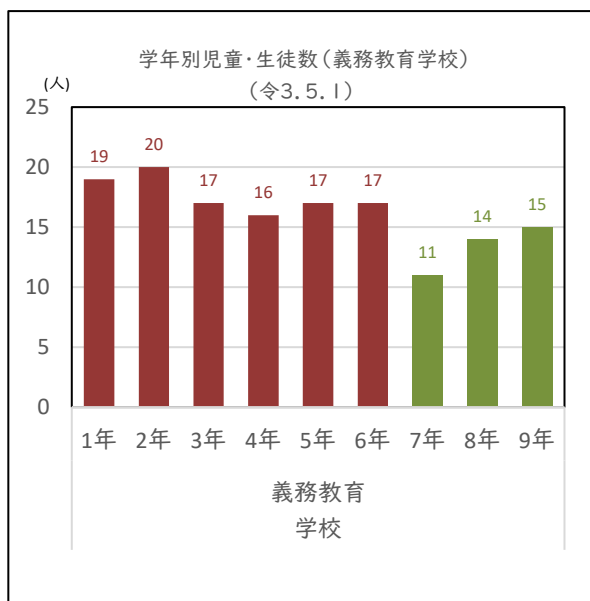
2-5 学年別児童生徒数

学年別児童生徒数は、中学3年生が最も多い。



更新:R4.2

(資料)文部科学省「学校基本調査」

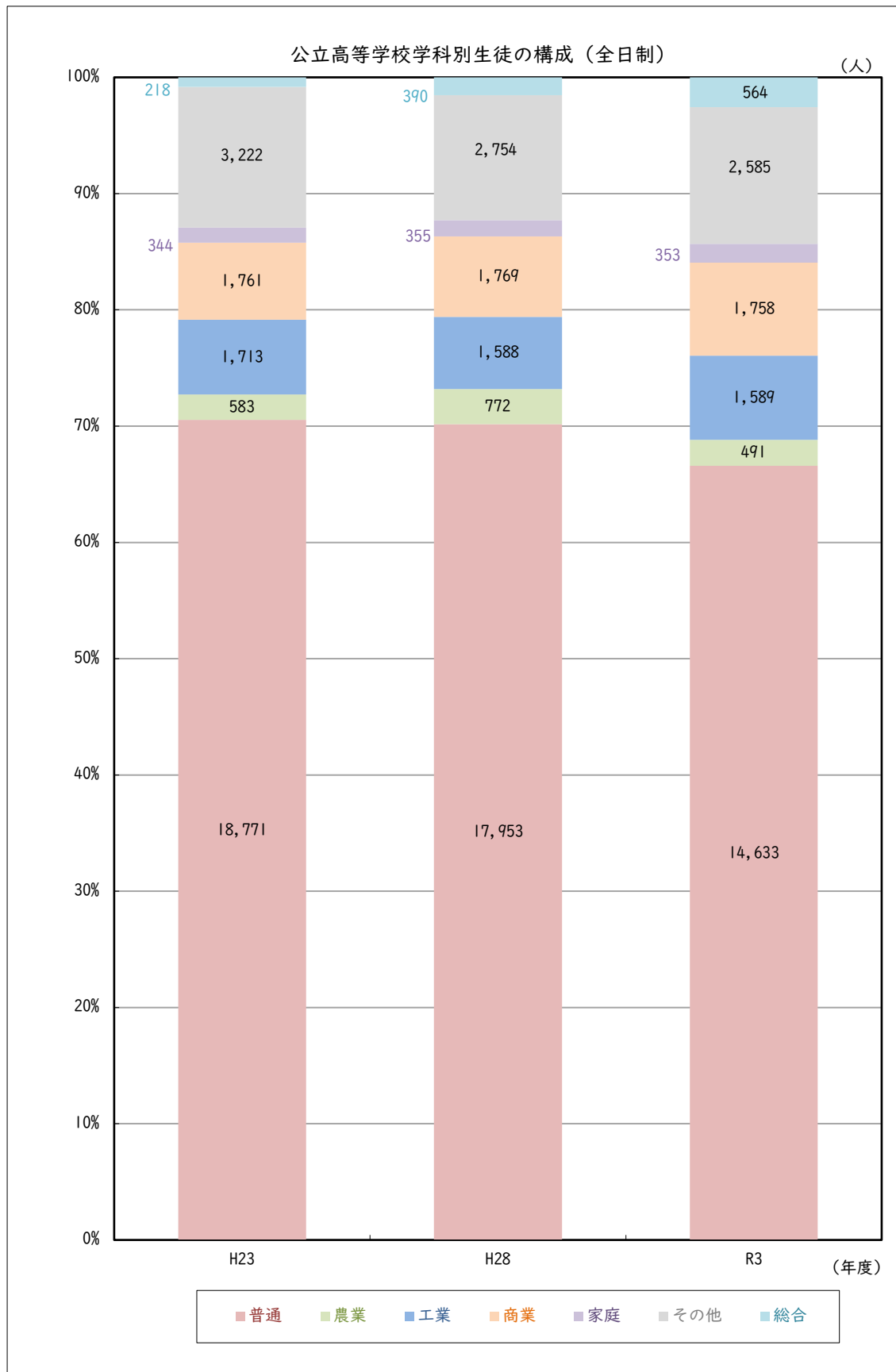


更新:R4.2

(資料)文部科学省「学校基本調査」

2-6 公立高等学校学科別生徒の構成(全日制)

これまで、公立高等学校の生徒数の学科別割合は、普通科が約70%前後となっていたが、多様な学科設置で、普通科以外の学科の生徒割合が増加した。

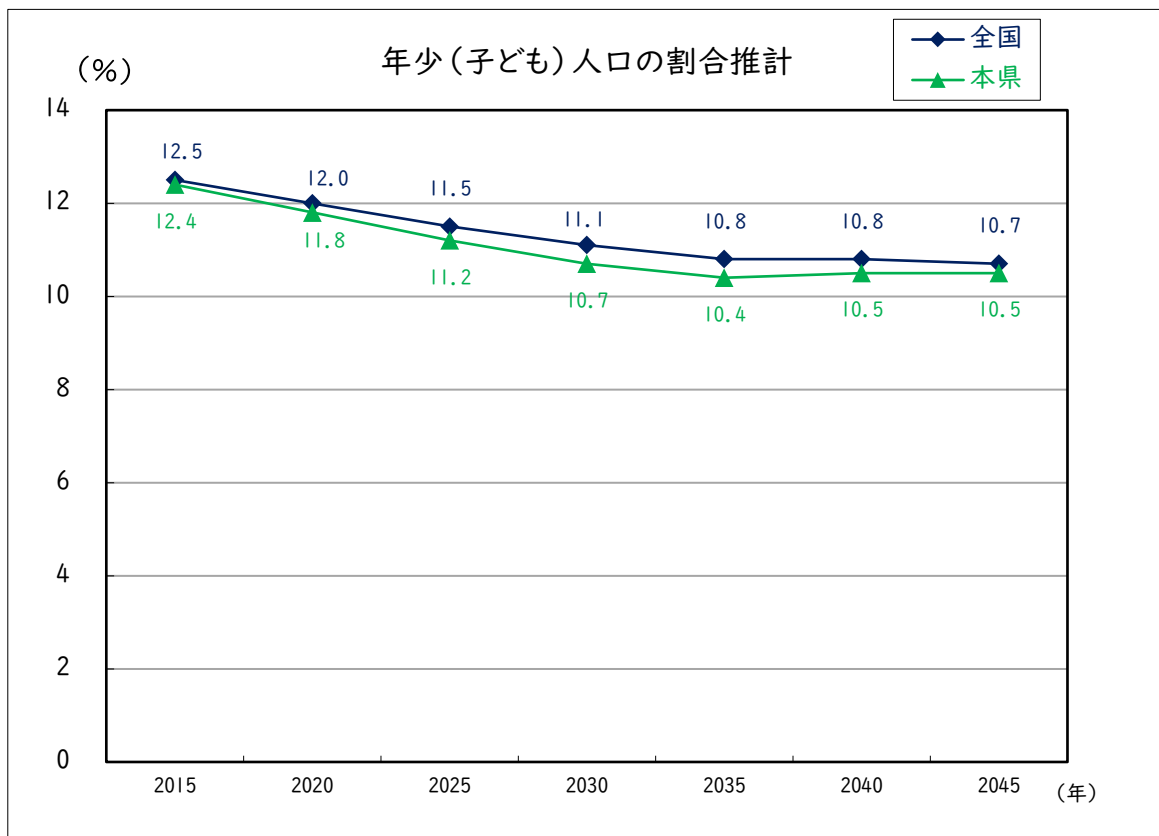
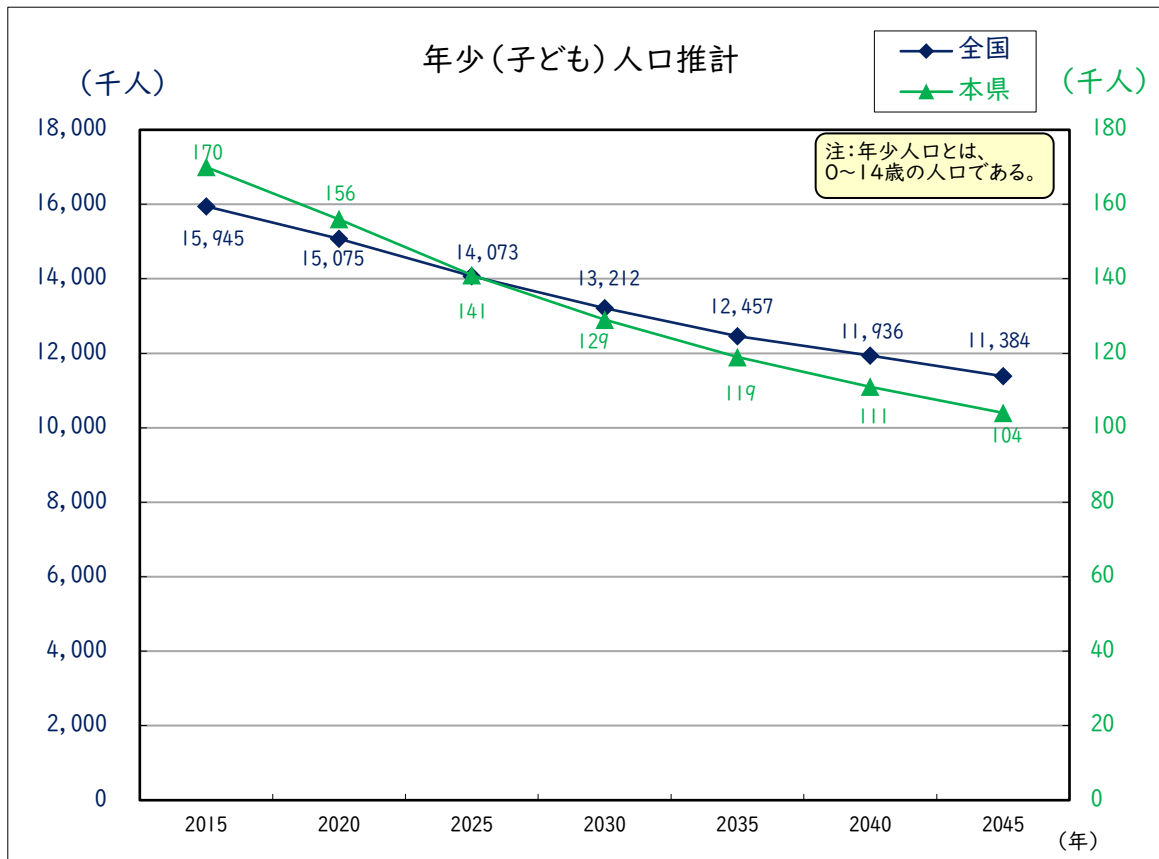


更新:R4.2

(資料) 文部科学省「学校基本調査」

2-7 年少人口推計

年少人口は今後減少していき、本県においては、2015年から2045年までの30年間で、4割程度減少すると推計されている。また、年少人口の割合も減少していくと推計されている。



更新:H31.2

(資料) 国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口(平成30(2018)年推計)」